

議会だより

からうら



No.53

2010.10.30発行

一般会計補正予算を可決

- 主な議案審議・臨時会 ——— 2 ▶ 3
- 委員会ハイライト ——— 4
- 視察研修報告 ——— 5
- 交流活動紹介・防災シリーズ ——— 6
- 9議員が一般質問 ——— 7 ▶ 15
- スポーツクラブ紹介 ——— 16



みかん保育園



それいけ!! とすもす保育園

横瀬小学校大規模改修工事に

1億2,338万円

◎ 一般会計補正予算の主なもの ◎

- 横瀬小学校大規模改修工事 …… 1億2,338万円
(太陽光発電設備設置含む)
- 新型インフルエンザ対策事業等 …… 314万円
- 子宮頸がんワクチン接種委託料等 …… 323万円
- ふるさとみかん園再生業務 …… 178万円
- 農地情報管理システム開発委託料 …… 500万円
- 林道婆羅尾岩屋線整備事業 …… 229万円

9月
定例会

横瀬小学校改修関連工事

太陽光発電設置に

賛否

(六対三)
で可決

反対 節、国清、松田議員

費用対効果、環境教育の面においても多額の費用を支出する根拠に乏しく、太陽光発電よりも自然環境のもとでCO₂削減、地球温暖化に対する取り組みを全町的に進めるべきだ。

賛成

森本、山野、井出、大西、森、西浜議員

環境問題は大きな社会的課題で地球温暖化対策は論をまたず取り組まなければならない問題で太陽光発電は国、県も推奨している中で行政として町を挙げて取り組むのは当然だ。

賛成多数で可決しました。

九月定例会は八日から十七日まで開かれ、二十二年度補正予算や町道認定、道の駅情報館の工事請負契約の締結、教育委員会委員の任命などの人事案件について審議しました。

補正予算の中で横瀬小学校改修工事関連の太陽光発電の設置について反対意見があり、討論、採決の結果六対三で可決、その他は全員一致で可決しました。

建設位置をめぐる議論白熱

～財源などの調査不足を指摘～

第2回臨時議会

8月27日 **建設位置を北側に**

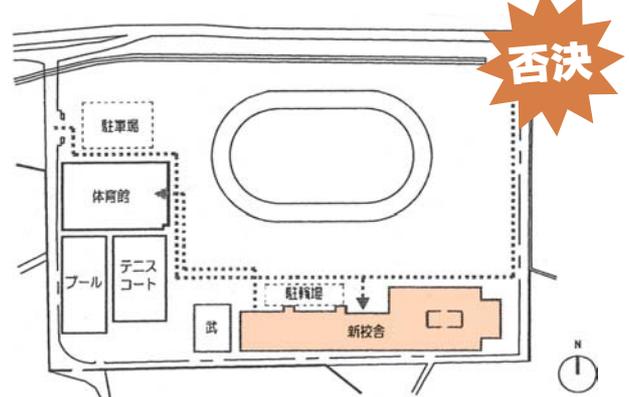


●町長の提案理由説明
 第一回の臨時議会で校舎の位置を敷地の南側に建設するとの提案が、経費面等の説明不足により否決された。その後、財源等について関係機関とも十分協議し精査した結果、過疎債の適用が可能で南側に建設するよりも実質的な町の負担が二、〇〇〇万円程安くなる。ことが判明。これまでの議会の議論を十分踏まえ建設位置を北側にすることとして提案する。

全議員が今回の理事者の対応に反省をうながし、審議の結果全員一致で可決されました。

第1回臨時議会

7月30日 **建設位置は南側に**



●町長の提案理由説明
 校舎建設位置を敷地内の南側とすることを前提として、中学校改築工事に伴うボーリング調査費八百四十四万円の補正予算を提出。

◎全議員が反対
反対意見 森議員
 特別委員会ではいろいろ検討したが理事者側の資料の提示不足や的確な答弁がない。提案された校舎建設位置については改築計画審議会の答申や町民の声が、十分反映されたものでない。特別委員会においても現校舎位置に建設すべきとの意見が多数をしめている。町長の再考を求める。

採決の結果、全議員の反対により否決されました。

人権擁護委員の

推せんに同意

滝花 恒子氏(柵野)
 湯浅 芳洋氏(沼江)



勝浦町教育委員会

委員の任命に同意

大西 直美氏(沼江)

勝浦町固定資産評価 審査委員会委員の 選任に同意

山本 達夫氏(生名)

総務産建常任委員会

八月三十日から三十一日まで委員会を開催し、補正予算、町道認定、総合計画、過疎計画、橋梁長寿命化計画などを審議しました。

協議不十分提案見送り

畑総関係の町道認定

町道認定として畑総関係二十二路線、個人申請一路線が提案されたが、畑総関係については現在、県の農道であり財産譲与の手続きもできていないことから九月定例会の提案を見送り、個人申請分については承認した。

道の駅情報館

工事請負契約提案

九月十六日に委員会を開催。道の駅情報館（仮称）の新築工事請負契約の締結について審議し、九月議会に追加提案することを承認しました。

契約金額

七千三百三十九万五千円



ラッシュ時の交通量を調査

通勤ラッシュ時 交通量調査を実施

ピークは午前七時台

九月二十四日に全議員が参加して、町内の通勤ラッシュ時の午前六時三十分から二時間。午後五時から二時間、町内四力所で上下線車両の通行量を調査した。

結果は下の表のとおりですが、総務産建委員会では十月四日に会議を開きこの結果について協議しさらに分析し、交通行政などに活かして行くことを確認した。

沼江不動前	午前		午後	
	勝浦 → 徳島	569台	徳島 → 勝浦	382台
横瀬橋西詰	勝浦 → 徳島	650	徳島 → 勝浦	614
	勝浦 → 徳島	442	徳島 → 勝浦	639
	徳島 → 勝浦	535		758

文教厚生常任委員会

九月二日に委員会を開き、補正予算や条例改正の説明を受け、審議しました。

子宮頸がん予防ワクチン

接種に全額助成

中学三年生を対象に、三回のワクチン接種を全額助成。

問

接種は勝浦病院でできるのか。また、接種方法は。

答

勝浦病院では実施できない。任意接種で保護者の同伴が必要。

チャイルドシート

貸し出し中止

チャイルドシートを貸し出していたが、安全基準の変更に伴い中止する。

問

子育て支援政策として、貸し出しに代わるものが必要でないか。

答

どのような制度が良いか検討する。

横瀬小学校

大規模改修

約一億二千三百万円の予算で、太陽光発電の設置や外壁塗装、トイレ改修などを行う。

問

太陽光発電は費用に対しての効果はほとんどないのではないか。

答

教育面での効果が期待できる。

問

大規模改修に対して町の負担が大きい。

答

有利な財源があれば検討したい。

議会が変われば 町が変わる

開成町・議会改革

総務産建常任委員会

9月28日～30日

神奈川県開成町に「議会改革の取組」を目的に視察した。

平成十七年に「日曜議会」を開催して機運が高まり、議員定数の削減や全国初の「議会改革スローガン」を制定し「議員が変われば議会が変わる。議会が変われば町が変わる。議員は住民の良きリーダー」と訴えた。

一般質問の「一問一答方式」や議会開催期間三百五十八日の「通年議会」を実施、議会基本条例の制定、議会報告会など画期的な改革を推進中であり、学ぶべきところも多く改革に取り入れたい。

「本物のみかん」

効率生産・高品質

静岡県・三ヶ日町

静岡県三ヶ日町に「みかん生産と加工品」を目的に視察した。

三ヶ日町は全国有数のみかん産



整備されたみかん園

地で、柑橘園が一千六百ha、出荷量が三万六千tで一戸当たり栽培面積は3haである。

みかん園は丘陵地が多く、樹間を五～六メートルと広くとりスピードスプレーヤーで消毒できる園地づくりで、雑草を生やさない栽培管理をしている。

加工品の種類も多く、特に「青島みかんジュース」は全て市販の大玉上品を使った果汁100%で大人気の商品である。

医療費、 中学卒業まで無料

文教厚生常任委員会

10月6日～8日

福井県のおおい町で子育て支援の取り組みについて研修を行った。

おおい町は「子育てへの負担がやさしい町」の理念の下、医療費の中学卒業まで無料化や保育園費の低減、病児デイケア事業をはじめ、こども家族館や若者住宅の建設、不妊治療費やチャイルドシート購入費の助成など手厚い施策が実施されている。

背景には原子力発電の誘致による多額の交付金があり、勝浦町と比較できないが、少ない予算でもきめ細かいサポートができている事業も多くあり、参考になった。



親子で利用のこども家族館



分別方法の説明を聞く

CO₂二万t削減プロジェクト

富山県の入善町では地球温暖化対策として、官民一体となってCO₂の年間一万t削減に取り組んでいる。

特筆すべきは、CO₂削減量を体系立て数値化し実践プログラムを計画していることである。一般家庭ではモニターで使用電気の削減量を調査し、事業者からは毎月のエネルギー使用量を報告してもらっている。

住民や学校での環境に対する啓発活動も積極的で、ケーブルテレビの活用や環境フェアの開催なども実施している。

勝浦町でも今年三月に「地球温暖化対策実行計画」が策定されたが、この計画の推進や町全体の環境への取り組みに生かしていきたい。

七社七鳥居参り

坂本八幡神社



鳥居をくぐり中風よけ

坂本八幡神社は、古くから「春・秋の社日に川を渡らずに七つの鳥居と七つの御社をくぐり参拝すると中風にならない」との言い伝えがある神社である。
今年、町の提案型補助事業に認められ内容を充実し九月十三日の秋分の日七社七鳥居のイベントが実施された。
三年前に坂本で結成された「坂



活発に活動の「坂本おんな神楽」

本おんな神楽」も参加協力しイベントを盛り上げた。
今後も地域相互間の連携・連帯を密にして、地域の活性化を図りながら坂本の知名度も上げたい。
(七社七鳥居実行委員会)

代表 細川 寛



役員による消火栓の点検

防災シリーズ



棚野自主防災隊は平成十四年九月に結成しました。役員は区三役と消防団OBが主となり、地区消防団員と連携を密にし活動しています。
今年も全町一斉防災訓練に百四十人が参加して、消防団員や地区

ジェーン台風を語り継ぐ

棚野自主防災隊

役員、隣近所が連携し避難訓練を行いました。

また、今年勝浦町に大きなたつめあとを残したジェーン台風が襲来し六十年という節目の年であり、今後の防災対策に役立てようと当時の状況を語り継ぐ講演会や写真展を実施しました。

棚野地区は勝浦病院や喜楽苑など公共施設が多くあることから、今後も防災意識の共有を図り、地域の「絆」を深めるために様々な取り組みを実施して行きたいと思っています。
(隊長 滝 豊水)



ジェーン台風を語り継ぐ

勝浦中学校建設位置

一転三転

その原因と責任は

財源の調査不足

責任は私に（町長）

国清 一治 議員



問

中学校改築位置について、七月の改築特別委員会と臨時会で町長、副町長、教育長は一貫して南側建設を主張した。その理由は、町負担の軽減から仮設校舎は建てないと訴えてきた。その結果、全会一致で否決された。

しかし、八月の改築特別委員会と臨時会では一転し

答 町長

財源について十分な調査ができていなかったことが一番の原因である。全ての責任は私にある。

進まない町道改良

優先順位の基準を

基準を検討する（町長）

問

毎年、各区長から「町道改良等要望書」

答 町長

財源について十分な調査ができていなかったことが一番の原因である。全ての責任は私にある。

危険な橋梁

町の対応は

架け替えを含め

今後、検討する（町長）

問

今年の二月に「橋梁長寿命化計画」が

答 産業建設課長

要望件数は八十九カ所。実施は三十六カ所。区長には四十％である。区長には次年度の要望時に報告している。

問

優先順位の基準を明文化したものはない。

要望件数は地区によって十倍もの差がある。優先順位も含めて基準を示すべきである。

答 町長

基準を検討し、適正化を図る。



架け替えが急がれる生名東橋

答 町長

財政の厳しさが、安心・安全の観点から、架け替えも含め検討したい。

策定され、二十八橋の危険度がランク付けされた。生名東橋と星谷橋は最も危険で、修繕では安全が確保できず、架け替えが妥当と判断されている。今後の対応は。

■その他の質問

○畑総事業について

地球温暖化対策

LED化を進めては

今後、増設を検討（総務税務課長）

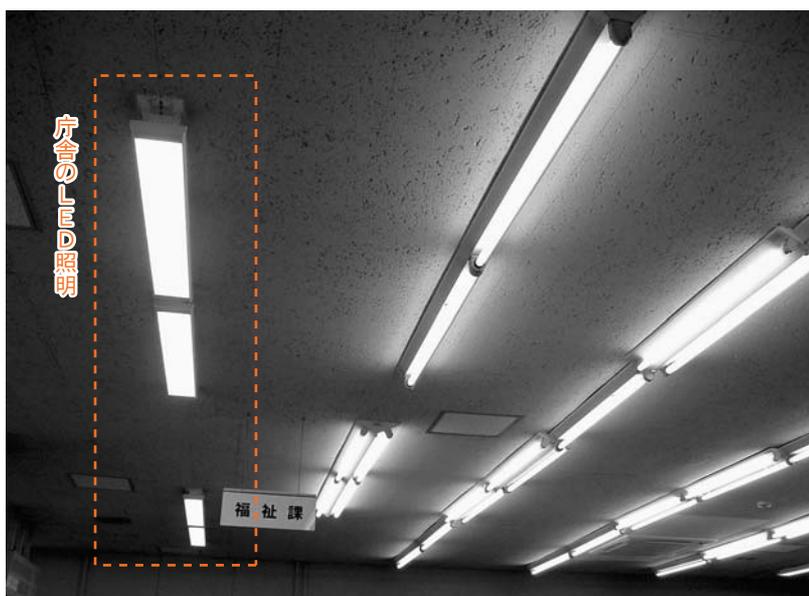
節 公一議員



問 庁舎や防犯灯の蛍光灯をLED化すれば電力は二分の一に削減でき、寿命は三倍以上になる。取り替えの労力も軽減できるので推進すべきでは。

答 総務税務課長

庁舎内にはすでに四十二基のLEDを設置しており、今後、増設を検討している



使用電力が大幅に削減できるLED照明

が、防犯灯については非常に高価なため、現時点での設置は無理と考えている。

問 横瀬小学校に太陽光発電装置が設置される計画だが、費用対効果は。

答 教育長 千二百五十万円の予算で十キロワットの太陽光発電を設置するが、年間発

電量は約一万キロワットで、横瀬小学校の必要電量の六分の一をまかなえ、約三・二tのCO₂が削減できる。

問 環境問題への取り組みは行政より民間の方が進んでいる面が多くある。民間のノウハウを取り入れたり、動向を把握するために協議する場が必要でないか。

答 町長 民間企業の取り組みが進んでいるという認識は持っている。町民環境会議に町内事業者の参画を検討して行く。

「道の駅」情報館 厨房テナント

なぜ喫茶が増えたのか

問 当初の説明では厨房は食堂だけだったが、八月の広報で喫茶の募集も出されていた。なぜ喫茶が増えたのか。

答 副町長 基本設計の段階で専

門家の意見を聞き、スペースの有効活用や魅力づくりの観点から喫茶、軽食を提供することとした。

問 情報館の管理運営は二名の交代制で、常時は一名の勤務体制だが、十分な対応はできるのか。

答 産業建設課長

休憩時間には役場からの応援で対応する。

増員が必要ならば、今後の運営協議会で緊急雇用制度の活用などを検討する。

問 二年後に町営から他の運営機関に移行することになっているが、町費のタレ流しは許されない。

受け皿機関にスムーズに移行する構想はできているのか。

答 副町長 新たな法人を立ち上げるのか、既存の法人に任せるのか、公募による指定管理者を募るのかなど、他の事例も参考にして今後、検討して行く。

農業の担い手対策

認定農業者の育成を

(産業建設課長)

山野忠男 議員



認定農業者を中心に継続できる意欲的な人材育成をめざしている。補助制度として他県では新規就農者の準備資金に助成をしているところもあるので、十分研究し検討したい。

問 農業の安定的な発展には担い手の育成が重要である。町ではどのような施策を考えているのか。
また、担い手に対する補助制度と新規就農者の環境づくりは。

答 産業建設課長

勝浦農業の担い手として、

光ファイバー活用で「**独居老人見守り隊**」の結成を

見守り体制は必要である
(総務課長)

問

ケーブルテレビの新規加入費用は、十

町より四万円余り高いが、同じ事業でなぜ差がつくのか。

また、上勝町では光ファイバーを活用した「独居老人見守り隊」を結成し、六十五歳以上の百四十世帯に「緊急速報装置」の無料サービスを提供しているが、町の考えは。

アナログ放送が来年七月に終了するが、それ以後のデジタル放送が今のテレビで見える「デジタル変換」を四国総合通信局が発表し、県内の過半数の業者が導入を計画していると聞くが、町の考えは。

答 総務課長

上勝町では新規加入者に今年七月から補助金を出しているが、本町には補助制度はない。

光ファイバー網を活用した見守り体制は今後、独居老人が増えてくるので必要である。

また、デジタル変換を町で活用できるのであれば検討したい。

なぜ進まない

坂本の防火水槽

九月入札予定(総務課長)

問

昨年九月の定例会で予算化された「坂本黄檗地区の防火水槽」が一年経過しても全く手付かずで、あまりにも執行が遅すぎる。その原因は。今回、二基の水槽が計画されているが、下の水槽の位置と工事の着工、完成時期は。

答 総務課長

また、上下の水槽間に消火栓が必要では。
遅れた原因は、土地所有者が県外で移転登記や、農地法の関係で時間を要したことである。下の水槽の位置は構造上、当初予定地より西の畑で計画している。工事は九月入札・着工、三カ月後に完成予定である。消火栓は既存の水槽の連結を検討したい。



工事が始まらない防火水槽予定地

大災害に対する備えは

災害廃棄物の処理計画を策定

(住民課長)

森本 守議員



答 総務税務課長

地震災害では家屋の倒壊や家具の転倒に対する耐震

補強、避難方法の確認、公共施設の耐震化に取り組んで行く。
応急住宅については町所によってはないので処分などの対処はできない。

答 福祉課長

災害時には要援

護者の支援体制が必要である。日ごろから居住地や生活状況の把握を行い、情報を共有して活用できるように整備して行く。

答 住民課長

災害時には一時

的に大量の廃棄物が発生する。災害廃棄物を円滑に処理し、衛生の確保や環境保全を図るため、災害廃棄物の処理計画を本年度に策定する。

答 産業建設課長

水害に対し、河川の土砂対策や急傾斜地崩壊対策などを実施して行く。

答 教育委員会事務局長

学校安全計画を策定しており、安全管理体制を含めマニュアルを作成している。

答 病院事務局長

年二回災害を想定した非難訓練を実施している。今年度に避難用の救助袋を設置した。

また、薬品や食料品を三日分備蓄している。

みかんの

浮き皮対策

問

みかんの浮き皮対策として、町内で薬剤による薬効試験が行われている。

試験結果を見て、摘果剤のように助成してはどうか。

答 町長

かなり高価なものであるが、効果もあると聞いています。もう少し確認して助成措置するか検討したい。

リフォーム

助成について

問

職人を取り巻く環境は日々厳しさを増している。

石井町では、今年度から二〇万円以上の工事に対して三十万円を限度とした補助制度がある。住民の生活改善と地域活性化のために利用しやすいリフォーム助成制度を創設しては。

答 町長

他町村の事例を調査したい。

その他の質問

○県道改良について

○ケーブルテレビ受信料について

○坂本地区防火水槽について

問

昔から「庚寅かのえの年には大災害が起きる」と言われ、今年がその年である。各課の取り組みは。

また、ジェーン台風当時に建てた応急住宅が、二十年あまり前から住む人も無く傷みが激しい。町で対応できないか。



町では対処が難しい応急住宅

子宮頸がんワクチン接種

助成対象の拡大を

十分検討したい（町長）

井出美智子議員

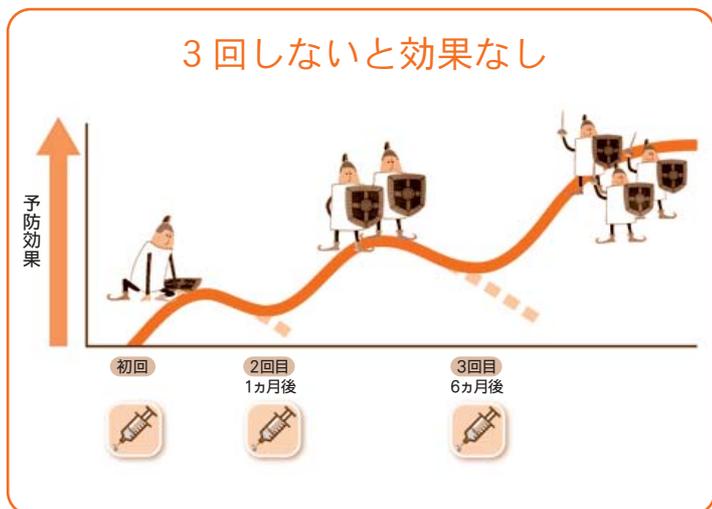


象に、保健福祉事業として成人への助成にも取り組んではどうか。

問

子宮頸がんワクチン接種の助成対象は中学三年生に限定されている。阿南市や那賀町では高校生世代にも対象を広げている。勝浦町で未成年者に実施するとすれば一二十七人、六百九万六千円で可能である。未成年者までの助成に
取り組むべきでは。
また、国保の加入者を対

3回しないと効果なし



接種スケジュールと感染予防効果

答 町長

未成年者への助成については、国や県の動向を見ながら十分に検討したい。

答 総務税務課長

保険事業としての実施は可能であるが、現時点では考えていない。

奨学金返還 困難者への支援を

国に無利子枠拡大を

要望する（教育長）

問

「奨学金の返済が困難になっている」との相談を受けた。日本学生支援機構は有利子での借入れが四分の三で、無利子枠の予約採用では適格者の八割が採用されない。三%の利子に延滞利息がつくと、ますます返済が困難になる。利用者の相談窓口を設けてはどうか。

また、奨学金利用者が人生のスタートからつまづかないよう、無利子枠の拡大を国に要望する必要があるのでは。

答 教育長

国に無利子枠の拡大を要望し、相談窓口の設置も検討する。

問

勝浦町の奨学金は無利子なのに利用者が少ない。制度を知らず活用されない状況を改善し、周知に努めるべきである。

答 教育長

町の奨学金制度が活用されるよう周知徹底を図って行く。

特産品加工 施設整備や 学習会の開催を

取り組みを強化する

（町長）

問

販売を目的とした特産品加工の開発が急がれている。栽培指導、加工技術等の学習会を全町民対象に開催してはどうか。また、小口の原料を個人で無駄なく現金化できるような施設の建設を国や県の制度を活用して整備してはどうか。

答 町長

提言を受け、町民のためになるような取り組みを強化する。

沼江バイパス 進ちよく状況は

山の切り取り作業中

(産業建設課長)

森 健 議員



問 沼江バイパス工事の進ちよく状況と、今後の予定は。

答 産業建設課長

二十二年度の工事概要は路面から五メートルまで切り取る予定で、約七十パーセントの進ちよく率となる。二十三年度には路面の高さまで切り取り、その土砂



着々と進む沼江バイパス

で盛り土区間の工事を行う。完成は二十三年度の予定だ。

町境付近の県道拡幅の取り組みは

問 用地はおおむね了解が得られていると

聞くが、着工の見込みと今後の取り組みは。

答 産業建設課長

買収土地周辺に公図と現況に差異があり不測の日数を要している。境界を確定しなければ分筆ができないので、登記に至らず事業着手できない現状にある。

今後は関係者との協議を通じ、一日も早い着工をめざし取り組みたい。

**勝浦町総合計画
今後十年の基本構想
について**

問 常態化しつつある猛暑は産業面や福祉と健康、公共施設などに多くの影響を与え社会問題化してきている。基本構想の階段として、もう少し厳しく受け止めるべきではないか。

答 総務税務課長

総合計画を推進して行く上で、地球温暖化対策は深

刻な課題と考えている。今後、基本計画や実施計画のなかで各分野ごとに具体的な目標を明示して取り組んで行く。

高齢化対策について

問 高齢化による行動力の低下により、生活必需品の調達など生活難が進んでくるのが想定される。生活支援策は。

答 総務税務課長

高齢者の夫婦世帯や一人暮らしの増加などが考えられ、医療、福祉などの面で在宅医療、安否の見守り、給食等、地域を通して健康に暮らせるソフト的な仕組みづくりが大切と考えている。

横瀬小学校改修工事

将来計画等の協議は十分か

改修検討委員会の

答申を受け決定（町長）

大西一司議員



問

横瀬小学校の大規模改修費が今議会に提案され、耐震化事業費と合わせ、約二億二千万円もの工事費となっている。

今後の学校のあり方や将来計画、特に小学校の統合問題等についても十分協議されているのか。

答 町長

横瀬小学校は築三十五年が経過し、耐震化工事と合わせ大規模な改修工事が必要になっている。検討委員会でも協議され施設整備の方向性が示されている。統合問題も現段階での議論は必要ないと答申内容だ。



工事が始まった中角通路

中角通路 工事計画と

完成予定は

排水工事は二月完了 全体は三年かかる予定

（産業建設課長）

問

中角通路関連の排水工事は町が担当しているが、完了はいつか。また、三月議会で約五千七百万円、六月補正で約五千八百万円計上している。ボックスカルバート等の大型化で工事費が増えているが予算内でできるのか。

また、歩道部分の工事計画と完成予定は。

答 産業建設課長

小学校の上流部と下流部に分けての排水工事になるが来年二月の完了を予定。全体の工事費は内容によっては補正対応も考えている。県の歩道部分の工事今年度の予算は補償に費やされる。全体の完成には財政的な面から三年くらいかかる予定だ。

勝浦中学校改築

仮設校舎建設決定で

工事の遅れはないか

予定の二十四年度

完成をめざす

（教育委員会事務局長）

問

建設位置の決定が大幅に遅れ、仮設校舎建設で工程数も増え、設計や工事日程が大きくずれ込み完成が遅れるのでは。国の補助金等の適用もなくなる心配はないのか。

答 教育委員会事務局長

スケジュール的には大変厳しい。特に設計については建築確認など時間を短縮することが難しい部分もあり、予定の完成には厳しい状況だが、本来の地震対策などで早期の完成が求められており、予定の二十四年度完成をめざし最大限の努力をして行きたい。

その他の質問

○道の駅建設

管理運営、周辺対策について

チャイルドシート

貸し出し業務の継続を

子育て支援策の中で

検討（町長）

松田貴志議員



答 福祉課長

道路交
通法の改

正により、保有しているシートが安全規格の新基準を満たさなくなった。無償譲渡なども検討したが、安全面から無理だと判断し回収に至った。

答 町長

貸し出し業務については

一定の役割を果たしたと思うが、来年度に向け事業継続を含め、子育て支援策全般の中で検討してみたい。

問

平成十二年からチャイルドシートの貸し出しを行ってきたが、安全性が担保できなくなったため、八月末で全てのシートを回収したと聞く。利用者への説明や継続に向けた議論を尽くしたのか。

また、多くの町民が利用していた事業でもある。継続を望む声にこたえるべきでは。



チャイルドシート貸し出し継続を

定住促進に向けた

取り組みは

空き家調査の結果をデータ化し公表する

（町長）

問 定住促進に向けた取り組みと、職員体制は。

また、勝浦で住んでもらうため、どのような施策が必要か。

答 町長

昨年度から取り組みで

空き家調査の結果、百二十四軒が対象となり実態調

査をしている。定住促進に向け有効活用を図るため、早い時期にデータ化し公表したい。

定住対策については、専従職員は置かず兼職で対応している。

また、住宅整備も必要だが道路整備が重要である。主要幹線の整備促進を図ることで山間部というイメージを解消したい。

消防、救急の常備化への取り組みは

問

県内で勝浦を含めた三町村が非常備消

防となっている。安心・安全なまちづくりを進める上で、消防の常備化による救急車の配備が一刻も早くされるべきだ。今後の推進に向けた取り組みは。

答 総務課長

現在、徳島県消

防広域化推進計画にそって、消防本部の統合に向けた検討会を立ち上げ、消防救急無線のデジタル化などに取り組み予定である。

出張所や高規格救急車の配置などは、平成二十四年に消防本部一元化がされた後に議論されることになる。

答 町長

救急車については小松島

市と配置に向けた協議をしたが合意に至っていない。

今後も消防広域化の中で、勝浦町の現状も主張して行うと考えている。

その他の質問

○教育環境の充実に向けて

○町民体育館の設備充実を

「町の宝」勝浦川 ヨシガヤ対策は

県と協議したい（副町長）

西浜勝己 議員



問 「勝浦川を町の宝に」と言うキャッチフレーズは良いが、現在はヨシガヤが生い茂り景観が台なしである。また、火災発生時に消防車が入れない。抜本的に取り組む必要がある。

今後、現地踏査するなど対応すべきではないか。



ヨシガヤで景観が台なし

答 副町長

勝浦川は県管理河川

であり、町としては抜本的な取り組みは難しい。今後、県と十分協議したい。

答 町長

現状認識が不足している所もあり、現地踏査するなど調査研究し、県に要望して解決策を見い出す努力をして行きたい。

町道認定

手順が違う

関係機関と連携を図る

（副町長）

問

畑総農道を町移管するため、町道認定を委員会に提出したが、土地改良区や地元と一切議論がされていない。手順を踏んで調整し提出すべきではなかったのか。

答 産業建設課長

今まで県から、かん排事業の末端施設と農道を一緒に移管をと要望があったが、平成二十一年一月に農道だけでも移管してくれないかとの話があった。

答 町長

今回、私の認識不足で提案したが、今後、関係機関と十分連携を取り、県から財産の譲与を受けたいと思っている。

鳥獣害対策

積極的に取り組め

問

農作物の鳥獣被害が深刻さを増している。駆除する猟友会の高齢化も深刻である。近隣市町村や県と連携を深め、積極的な取り組みが必要と思うが。

答 産業建設課長

県は緊急的に日本シカの捕獲を目的として、今年二千万円の補正をすると聞いている。十月と三月に一週間の短期間で全県的に実施する。

答 町長

猟友会の高齢化も進み、新たに狩猟の免許を取得するには経費もかかるなど実情を十分話し、今後は近隣市町村と連携をとりながら、県に再要望をしたい。

■その他の質問

- 町道整備について
- 勝浦町総合計画について



K-Friends

ケイフレンズ

会員数440人
(10月15日現在)

エアロ De ダイエット

エアロビクスは有酸素運動の代表と言われるように、体脂肪を焼却させるには最も効果的な運動です。20分以上運動を継続することより脂肪が燃焼して発汗します。

軽快な音楽を聴きながらヨガストレッチを取り入れたリラックスタイム！



福田七穂子先生

エアロビ・インストラクター



音楽に合わせて
楽しみながら、健
康維持とダイエッ
トで「ナイスバディ
ーをめざそう」！
みな様の参加を
お待ちしております。

インタビュー

この教室に参加したきっかけ、楽しいことなど！

- いつも明るく、ハツラツとした先生に元気いただいています。気持ちのいい汗を。 〈Nさん〉
- 年を重ねても楽しく過ごすために体の調子を整えています。ほどよい緊張感もあり、脳も活性化。 〈Mさん〉
- 先生は楽しい、ステップも楽しい。次の日には体スッキリ。 〈HNさん〉
- 初心者もみんなでいっしょ。楽しくやっています！ 〈Hさん〉
- 心身共にリフレッシュ!! 私の大好きな時間です。いつまでも若々しくいたいから…。 〈HIさん〉

練習

毎週火曜日 午後7時～8時
場所:勝浦町住民福祉センター

問い合わせ・申し込み先

K-Friends事務所 (町民体育館、改善センター)
電話・FAX 0885-42-3671
E-mail kfriends@27.fan-site.net
<http://kfriends.fan-site.net/index.html>



編集後記

「隗より始めよ」
かい

本町における行政改革はこの言葉とともに推進されてきた。職員削減や給与カット、議員定数の削減などを断行し、住民サービスの低下を最小限に留めている。

国では、高校授業無償化や子ども手当で、高速道路無料化などを公約に政権交代を果たした民主党。

子育て世代の私とすれば、子ども手当での満額支給や出産一時金を五十五万円に増額する政策の実行を望みたいところだが、税金の無駄遣いと天下りの根絶、国家公務員の総人件費一割削減など、財源を捻出さなければ改革の展望が見えてこない現状では夢物語に終わりをうたう。

せめて「有言実行内閣」を掛け声だけに終わらすことなく、これ以上政治不信を招かないようにしてもらいたい。
(貴志)

